



Sunday School クラスルーム

日本キリスト教団 荻窪清水教会 日曜学校だより No.32 2023. 2. 26 発行

ヨナの不満と神さまの満足

ヨナ書3章1～10節

ごきげんよう!

牧師 梅津 裕美

ヨナは気落ちしていました。だって、神さまから嫌な命令をいただいたからです。「東の国アッシリア帝国の都ニネベが悪に満ちているから、そこへ行って悔い改めるように預言しなさい」というご命令でした。アッシリアは、憎い憎い敵の国、そんなところへ行くもんか…ヨナは神さまのご命令に従わずに、それとは逆さまの西方向に出発する船に乗って逃亡したのです。

ところが、その船が大嵐にあって、その理由が神さまに背いたヨナが乗っているせいだと知られてしまいます。ヨナが自分から願い出て乗組員たちに海に放り出されると、なんと荒れ狂った海が静まりました。その時神さまが、海に投げ出されたヨナをクジラのような大きな魚に命じてパクリと呑み込ませたものですから、ヨナは三日三晩その魚のお腹にいました。その時、ヨナは神さまのご命令から逃れようとした自分の背きを悔い改めました。神さまは悔い改めたヨナを大きな魚に命じて陸地に吐き出させて、ヨナは助かりました。

そこからヨナは神さまのご命令に従って、アッシリアの都ニネベに行って預言します。「あと40日すれば、この都は滅びる」と叫び続けたのです。ところが、恐ろしい裁きの預言をニネベの人々は素直に受け入れて、悪から離れて主なる神さまを敬う生活を始めたのです。それをご覧になった神さまは、思い直されて、預言した災いをお止めになりました。

ところが、ヨナはそれが不満でした。敵の国が滅ぼされずに救われたことが面白くない。自分たちこそ選ばれた神の民、祝福は自分たちのものと思いついて、神さまの救いの御心が異国の人々にも広がっていることが分からなかったのです。一方で神さまは、ニネベの人々が神さまの前に正しく生きるようになったことに大満足され大喜びされました。



堀内長老からのメッセージ

あと1か月で新年度です。皆さんの中には上の学校に入学される方もいます。皆さんのまわりには4月から幼稚園に入園する子どもがいますか。1949年にできた都内の教会付属幼稚園は、次のとおり保育の目標を定めています。「1. 自分が神につくられ、愛されている存在であることに気づき、神の恵みに生かされている子どもとして、成長していくこと。2. イエス・キリストを通して、神の愛に気づき、お互いが大切な存在であることを認め合い、力を合わせてよい世界をつくりだしていくこと。3. 身近な自然を通して、神のつくられた世界を知り、命を大切に作る心がそだつこと。」この幼稚園の目標を見ますと、年齢に関係なく小さな子どもも聖書のみ言葉をしっかりと聞いて育つことの大切さがわかります。この文章は幼稚園の子どもたちのためのものですが、目標の中の「子ども」を小学生、中学生、高校生そして大人に置き換えて、わたしたち自身もそのように成長していくことの大切さを年度がかわる、この時にまた改めて確認して、新しい2023年度をむかえたいと思います。

